

## **昇段審査確認事項**

### **◇本審査に臨む前に必ず仮昇段審査を実施する**

仮昇段審査では原則としてトゥル、約束組手、マッソギ、試割り等、課題内容をすべて行う。

### **◇1段受審 護身術について**

左手で相手の右手側、または部位を掴む。  
相手が受審者ではない場合は、受審者のみ行う。  
手首→肘→肩→襟→帯→首→頭の順序で行う。

### **◇拳立て 回数について**

小学生：30回  
中学男子：30回  
中学女子・高校女子・成年女子・ベテラン女子：30回  
高校生・成年男子：50回  
ベテラン男子：30回

### **◇使用する板について**

（威力）

小学・中学生（小1～中3 男女） 6分板  
高校生・成年部 男子8分板・女子6分板  
ベテラン（40～49才） 男女 6分板 ※50才以上は威力の審査はなし

（特技）

特技は全て6分板を1枚で行う。  
ベテランクラスは特技をしない。

### **◇ティミョチャギ（特技）の高さについて**

原則として頭頂部に板の中心を合わせる。  
※3段受審課題、ティミョノピチャギは手を上に上げた高さに合わせる。

### **◇ベテラン（50才以上）について**

ベテラン（50才以上）は試割りはなし、マッソギは基本的にしない。

### **◇審査保留について**

課題内容を正確に完了できない、試割（3種類）の内、2種類が割れない場合は昇段保留となる。  
保留の場合は後日再審査する。

（試割りの可否について）

- ・ 成功：種目ごとの規定の枚数がすべて割れた場合
- ・ 失敗：一部の枚数が割れる、ヒビが入った場合など。